



# 1年生 生活科

## 1年1組 「みんな なかよし」

生き物が大好きな本学級は、特に生き物との触れ合い、飼育活動等の体験を通して学びを深めています。

4月。学校探検では「育ちの森」や「竹の庭」など、日枝小学校には自然が多い場所があることを発見した子どもたち。休み時間には、石の陰にかくれているダンゴムシやアリなどを見つけてじっくり観察したり触ったりして遊び始めました。「生き物ともっとなかよくなりたい。」「お世話をしてみたい。」「ちょっと苦手だけど・・・」そんな思いが高まった6月。あるきっかけからオタマジャクシに出会いました。「オタマジャクシがカエルになるって、本当かな。」「どうやってカエルになるのかな。」子どもたちの“知りたい”という思いから、オタマジャクシの飼育活動がスタートしました。

一匹いっぴきをじっくりと見てみると、すいすい泳いだり、じっとしてみたり、様々な表情をすることが分かりました。「おはようって言ってくれた！かわいい。」「口をぱくぱくしているからお腹がすいているのかな。」子どもたちは各班のオタマジャクシに素敵な名前を付けて、大切に育てました。足が生え、しっぽが短くなるなど、日ごとに変化していくオタマジャクシ。様子に合わせて世話の仕方を工夫することが飼育の難しいところです。子どもたちは、司書の先生に聞いて本でお世話の仕方を調べたり、技術吏員の先生に陸の作り方を教えてもらったりしながら、一生懸命に課題に取り組んでいきました。そして、7月。やっとカエルになったのです。「嬉しい！」「ありがとう！」「かわいい！」「大変だった！」「どうしてこうなったのか、本当に不思議・・・」子どもたちは自然の不思議を実感し、感動していました。また、オタマジャクシと“なかよし”になったようです。

生き物の気持ちを考えたり、愛着をもって生き物と触れ合ったりすることができるように、今後も活動が続けていきます。また、生き物との触れ合いを軸にしながら、学校の人に出会ったり、季節を感じたり、自分自身の成長に気付いたりすることができるように、取り組んでいきます。



## 1年2組 「なかよしいっぱい だいすきいっぱい (仮)」

入学したての子どもたちにとって、学校は、「なかよくなりたいもの」の宝庫。

まず、最初に動き出したのは、「学校探検」。入学した翌日の中休み、「ぼくたちは、『学校探検隊』だよ。行ってくるね。」と、列車のように連なって出かけて行った子どもたちのグループが…。このことがきっかけとなり、学級みんなでの学校探検が始まりました。

次に始まったのは、「季節遊び」。

「『秋じゃない』のに、ドングリがいっぱい落ちているんだよ。不思議でしょ。」と、息を弾ませて報告に来たお友達のつぶやきから、活動がスタートしました。

また、「生き物となかよし」の活動は、上級生のお兄さんお姉さんがきっかけをつくってくれました。昨年度自分たちが育てたお花の種を手に、

「みんなも大切にお花を育ててみませんか。」

と、誘いに来てくれたのは、2年生。もちろん返事は…、

「やったあ。やるやる。」

音楽の時間に、「かたつむり」を歌っていたら、本物のカタツムリを手に颯爽と教室に登場したのは、3年生のお兄さん。自分が育てているカタツムリを大切に見せてくれて、

「よかったら、分けてあげるから、育ててみますか。」

と、声をかけてくれました。その後、カメも加わった1年2組。休み時間には、カメ班とカタツムリ班に分かれて、一生懸命お世話に取り組んでいます。

さあ、今後は、どんな思いをもち、どんな活動を生み出していくのか！楽しみです！



## 1年3組

## 「みんなと なかよし だいさくせん！」

日枝小学校に入学し、「なかよしの時間は、“色々なものや人となかよくなる時間”」と知った1年3組の子どもたち。「学校の色々なものとなかよくなりたい！」と意欲をもって活動しています。

「ひえしょうとなかよしだいさくせん！」では、学校探検をして、「自分のお気に入り」をたくさん発見しました。普段はなかなか入れない職員室や校長室に入れてもらったり、家庭科室の授業を見せてもらったりしました。学校探検をする中で、挨拶の仕方や、部屋に入れてもらう時の言い方も勉強しました。

「きせつとなかよしだいさくせん！」では、移り変わる季節と仲良くなるために、校庭で思い切り遊んでいます。春には桑の実の汁でお絵かきをし、梅雨には雨の中水たまりを裸足で歩いて、夏には太陽の下で走り回りました。それぞれの季節の楽しさを実感していました。

「いきものとなかよしだいさくせん！」では、そだちの森で見つけたダンゴムシや、技術吏員さんにもらったザリガニを教室で飼っています。小さな生き物のために、自分たちが何をしてあげられるかを考えて、お世話をしています。

「おはなとなかよしだいさくせん！」では、2年生からもらったお花の種を、一人ひとりが大切に育てました。小さな芽が出たり、ツルが伸びたり、つぼみができたりするたびに、子どもたちは目を輝かせていました。「お花が、『お水をもっとちょうだい。』って言っているよ。」「ツルが伸びて、隣の子の花にくっついちゃったから、棒を立ててあげないといけないんだよ。」など、花をよく見てどんなことをしてあげればいいのか自分で考えて、お花を育てました。

